

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学附属病院小児腫瘍内科では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 2月

福島県立医科大学附属病院小児腫瘍内科 工藤新吾

研究課題名

福島県立医科大学における造血幹細胞移植後の類洞閉塞症候群についての実態調査

研究期間

2024年2月～2024年8月

研究の目的・意義

類洞閉塞症候群(SOS)とは、造血幹細胞移植(HSCT)を行うときに、注意すべき合併症の一つであり、ときに致命的となります。症状として、肝臓の有痛性の腫大(痛みをとともなう腫れ)や、黄疸(体が黄色くなること)、体液貯留(体に腹水や胸水などの水分が溜まること)があります。これまで、SOSの治療は確立されておらず、症状を和らげるような治療(支持療法)が主体でしたが、近年 defibrotaide(DF)という薬が、治療薬として効果があるという報告があります。

本研究では、当科で HSCT を行った患者さんについて、過去の記録を調べることで、SOS を発症した患者と発症しなかった患者を比較し、SOS 発症のリスクを検討することを主な目的とします。また、SOS を発症した患者については、病気の経過について検討し、DF の治療効果についてもさらに検討します。

研究対象となる方

2020年12月から2023年9月までに当院で造血幹細胞移植を行った、全ての方が対象です。

研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、造血幹細胞移植に関連する記録、類洞閉塞症候群と考えられる症状などの項目についてデータを収集します。

試料・情報の利用を開始する予定日

2024年3月1日

研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学附属病院小児腫瘍内科であり、研究責任者は福島県立医科大学附属病院小児腫瘍内科 工藤新吾です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学附属病院小児腫瘍内科で利用し解析が行われます。

【研究組織】

研究機関名	所属	研究責任者	役割・責任
福島県立医科大学	小児腫瘍内科	工藤 新吾	研究の統括

試料・情報の提供について

当院での診療情報は他施設には提供しません。

この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学附属病院小児腫瘍内科 担当：工藤新吾

電話：024-547-1437 FAX：024-549-1443

e-mail：shoushu1@fmu.ac.jp

試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先

試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

作成日： 2024年1月4日（第1.1版）

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児腫瘍内科学講座 担当：工藤新吾

電話：024-547-1437 FAX：024-547-1443

e-mail：shoushu1@fmu.ac.jp